



広報

みずほ

2010 4 平成22年

発行/瑞穂町 編集/秘書広報課 毎月1回1日発行
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
☎ 042 (557) 0501 (代表)
ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

人口と世帯 人口 33,726人 (35人減)
男 17,235人 (20人減)
女 16,491人 (15人減)
3月1日現在 世帯 13,632 (2世帯増)
()は前月比 外国人登録数 586人

No.579



親子で絵本を楽しもう

3月7日、読書講演会が子ども家庭支援センターひばりで行われました。

講演会では、絵本の読み聞かせの手法や実演を交えてお話があり、お母さんたちは興味深く耳を傾けていました。また、子どもたちも絵本に夢中になっていました。

大人になってもたくさんの本と出会ってください。今年は国民読書年です。

おもな内容

平成22年度 施政方針	2・3
平成22年度 まちの予算	4・5
みずほ伝言板	6~13
インフォメーション	16~18
福祉	19~21
教育委員会からのお知らせ	22~25

今年が町制施行70周年です 瑞穂町海外留学奨学金等支給制度 第32回さくらまつり 箱根ヶ崎駅時刻表 ほか
瑞穂町暮らしの便利帳が完成 平成22年度の国民年金保険料 ほか
各福祉手当等の振り込みのご案内 年金から介護保険料を納めている方へ 高齢者自立支援住宅改修給付事業 ほか
スカイホール完全休館日 総合文化祭参加団体・参加者募集 ほか

平成22年度 施政方針

平成22年第1回瑞穂町議会定例会で、石塚町長が22年度の施政方針を発表しました。そのあらましをお知らせします。

「町民や産業を元気に」

日本の経済は、消費需要の落ち込みから、企業収益は大幅な減少が続いています。失業率は高水準で推移し、新規卒業者の採用もままならない状況にあります。

政府は、当面、確実な景気回復とデフレ克服を目指し、雇用不安や生活不安の高まりに応え、「緊急対応」や、企業の資金繰りを支援する「金融対策」などによって、景気の下支えをすることであります。また、各地方公共団体もそれぞれ景気対策に積極的な予算を組んでいます。

しかし、国も地方も多額の借財に頼らざるを得ない状況となっていることは、申し上げるまでもありません。町の平成22年度予算編成に当たっては、事業に充当できる国などからの補助金等を最大限に活用するとともに、経費節減を行い、最小の経費で最大の効果を得られるよう努めました。

また、このような時期だからこそ、町民の生活を安定させ、活性化するために、行政として積極的な施策を展開することとしました。

平成22年度 主な新規の取り組み

平成22年度に、町制施行70周年の各種記念事業を実施し、町全体でお祝いして、町のにぎわいを創出します。

経済対策として、これまでの中小企業支援策や住宅改修補助を継続し、環境配慮型機器の購入費助成を新たに加え、経済対策とともに温室効果ガスの削減を促進します。

地域福祉の推進では、改修されたふれあいセンターと、新たに開設する福祉作業所に指定管理者制度を導入して、施設の管理運営を効率化します。また、福祉バスの運行を開始して、高齢者や障がい者等の公共施設へのアクセスの利便性を高めます。



▲福祉バス「かわせみ号」

子育て支援策では、児童を対象とした子ども手当の支給を開始し、私立幼稚園児の保護者負担を軽減するため、補助金を増額します。また、ヒブワクチンの接種費を助成し、乳幼児の健康を守ります。

学校教育では、学力向上支援策として学習サポーターの充実を図ります。豊かな心の育成として全学級にシクラメンを配布するほか、中学校では茶道を総合的学習に取り入れます。さらに、八丈島の中学校との交流事業を開始します。

社会教育関連では、小学生のスキー教室をNPO法人である体育協会に委託し、協働体制を確立するほか、国民体育大会の開催準備を進めます。青少年の夢を実現することを手助けするために海外留学に必要な費用の一部補助制度を創設します。

そのほかにも、町の名を高め、貢献された人をたたえるため、名誉町民表彰制度を創設します。続いて、長期総合計画の施策体系に沿って、重点施策を申し上げます。

環境と共生する まちづくり

良好な居住空間づくりとして、狭山池周辺整備について、平成21年度に引き続き、計画策定のための調査・検討を進めます。



▲狭山池公園

長岡地域施設等の整備では、建設予定地に隣接する公園の実施設計を行います。

また、自然や歴史などの地域資源を生かし、調和のとれた景観を形成するため、景観基本計画を策定します。

快適で便利な都市基盤づくりとして、殿ヶ谷および箱根ヶ崎駅西地区の土地区画整理事業を引き続き推進し、栗原地区土地区画整理事業の事業認可取得に全力を傾注します。また、駅西地区については、駅前広場と、これに続く都市計画道路3・4・12号線の羽村街道までの開通を推進するとともに、開通を見据えたバス路線の拡充を関係事業者に要望します。

4次長期総合計画は、長期総合計画審議会の答申を尊重して作成した素案について、町民の皆様にお知らせし、ご意見をお聞きした後に、議会の議決をいたたく予定です。

行政評価は、長期総合計画の進捗よく管理および各種事務事業の効果を確認するため、行政評価委員会に、客観的な検証をお願いいたします。

平成22年度で終了する現行の第3次行政改革大綱については、実施成果を検証するとともに、新たな視点も含めて第4次行政改革大綱を策定します。選挙では、有権者への利便性を高めるため、期日前投票所を一時的に箱根ヶ崎駅東西自由通路内に設置し、投票率の向上を図ります。

電算システムの効率的かつ効果的な運営を図るため、西多摩地域町村との共同運営について方針を決定します。以上、主要事業を申し上げますが、平成22年度は、積極的な予算編成を心掛けました。特に、町民や産業が元気になること、自然や環境を守り引き継ぐこと、歴史を大切にすること、教育や子育て支援を充実させることなどに、重点的に予算を配分し、施策を展開することとしました。

全職員が、常に町民福祉の向上と、効率的かつ効果的な施策展開に努めますので、町民の皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。

活力ある生活を支える まちづくり

長岡地域施設の建設に着手し、平成23年度の完成を目指します。



▲武蔵野コミュニティセンターふれあい祭り

また、石畑会館改修工事等を実施するほか、コミュニティ振興計画に基づき、町内会等の地域づくり事業や町内会加入促進等を支援します。防犯では、町内会や関係機関と連携

し、平成21年度から開始した青色回転灯装備車による防犯パトロールとともに、安全・安心のまちづくりの一層の充実・強化を図ります。

特色のある産業づくりとして、企業誘致促進条例を制定し、優良企業誘致を進めます。

また、平成21年度から検討を開始した瑞穂ブランド特産品については、商工会と協働して特産品候補の検討・絞り込みを行います。

自心を高め互いを認め合おうまちづくり

安心感のある保健・医療・福祉づくりとして、すべての町民が、安心して自立した生活を送ることができる地域社会の実現を目指して「地域保健福祉計画」を改定します。

地域包括支援センター業務を10月から事業委託とし、業務の専門性を高め、高齢者の生活を支援します。

このほか、次世代育成支援行動計画に基づき、安心して子どもを産み、健康やかに育てることができると環境整備に、引き続き努力します。

個性とやさしさを育む教育・文化づくりとして、第五小学校および第二中学校の耐震補強工事を実施します。安全で快適な教育環境の整備を図るために取り組んできたこの耐震補強は、すべての小・中学校で完了となります。

計画の推進

平成23年度を計画の初年度とする第



▲昨年度の交流事業で来町したモーガンヒル市の中学生

学習環境を向上し、緑空間を創出するため、第三小学校の校庭芝生化の設計を行います。

姉妹都市米国モーガンヒル市へ中学生を派遣し、学校での体験も含めた交流を行うほか、タイ王国の都市との友好都市を見据えた交流を進めます。

社会教育施設関連では、スカイホールの施設および設備の改修と、外壁補修工事の設計を行います。

郷土資料館について、町の歴史と文化を保存する機能を高め、多くの町民に利用していただける新たな施設を建設するため、耕心館に隣接した用地を、複数年にわたり購入します。そのほかにも緑地保全のため、土地を取得する予定です。